

【別添資料5】文化棟減築及び必要諸室等一覧表(案)

■ホール棟面積表(想定) ※ホール棟の改修内容については、別添資料4を参照のこと。(うち、文化棟減築に伴う改修として「別添資料5参照」としている部分等は、下記のとおり。)

場所・階数 (建築法上)	室名(旧→新)	各室面積	諸室条件	実施する事業(想定)
B1F	特別室・吹奏楽団諸室・委託業者詰所① ↓ 応接室・更衣室・委託業者詰所①	約計96㎡	・B1Fの諸室について、文化棟減築及び1Fの指定管理者事務所移転に伴い、必要となる諸室を検討すること  その他改修内容は別添資料4のとおり	—
1F	ホール事務所・防災センター ↓ 指定管理者事務所・防災センター	約170㎡	・事務所:職員22人を想定(事務員15人・受付3人・美術4人) ・防災センター:施設担当職員5人を想定 ・受付カウンター(貸館申込等) ・事務所機能に必要な環境整備(ネット回線等)	—
	ホール事務所会議室 ↓ 指定管理者事務所会議室	約34㎡	・ミーティングルーム(貸館申込者との打合わせ等を想定)	—
	更衣室・委託業者詰所② ↓ 更衣室・委託業者詰所②	約計20㎡	・1Fの諸室について、文化棟減築及び1Fの指定管理者事務所移転に伴い、必要となる諸室を検討すること	—
2~6F	アルカイクホール(大ホール) ↓ アルカイクホール(大ホール)	—	・現状固定席1,820席 ・大ホールは「音響家が選ぶ優良ホール100選」にも選ばれており、耐震化においては音響性能を維持すること ・舞台設備の提案(近年の音楽ホールで標準的な設備)  その他改修内容は別添資料4のとおり	・バレエ ・吹奏楽 ・コンサート ・演劇 ・伝統芸能 ・講演会 ・集会 ・式典
	ミニホール(玉翔の間) ↓ ミニホール(玉翔の間)	約372㎡	・現状の内装の雰囲気を活かしたまま展示機能の追加を検討 ・美術展巡回ルートの検討 ・映像上演機能 ・音響卓・マイクシステム ・備品庫 ・出演者用楽屋スペースの検討 ・出演者用舞台裏通路の検討  その他改修内容は別添資料4のとおり	・室内楽 ・講演会 ・トークショー ・寄席 ・シンポジウム ・展示 ・映像上演 ・レセプション ・パーティ
3F (文化棟と 一体利用)	玉翔の間ロビー ↓ 玉翔の間ロビー	約122㎡	・現状の内装の雰囲気を活かしたままの改修 ・美術展巡回ルートの検討	・展示
	ギャラリアアルカイク FMあまがさき ↓ 展示室2	約236㎡	・温湿度管理・遮光・ガス消火設備の設置 ・照明・展示レール等の設置 ・美術展受付2人を想定 ・展示用可動壁等の展示設備の提案 ・美術展巡回ルートの検討 ・展示用備品庫(10m)を備える	尼崎にゆかりのある芸術家の展示スペース ・白髪一雄 ・尼子騷兵衛 ・桂米朝 など

■文化棟面積表(想定)

場所・階数 (建築法上)	室名(旧→新)	各室面積	諸室条件	実施する事業(想定)
B1	機械室・電気室等 ↓ 機械室・電気室等	約860㎡	・設備更新(受変電設備、空調設備、給排水ポンプ等)	—
1F	車寄せ・美術搬入口 ↓ 車寄せ・美術搬入口	—	・6トントラックから美術品が搬入できるプラットホーム	—
	ピロティ・車寄せ ↓ 展示什器用大型倉庫	約100㎡	・倉庫(展示什器、備品、資材、活用美術品)の検討	—
2F	総合受付 ↓ にぎわい・交流スペース	約300㎡	・総合受付、チケット売り場 ・交流サロンカウンター、親子交流スペース ・マイクシステム ・デジタルサイネージ ・カフェ機能(カウンター) ・情報発信(ラック)、ライブラリー	・催し案内 ・カフェ、ショップ(テナントも検討) ・イベントがない時でも人々が交流できるような、にぎわいを創出するスペース(交流サロン)
	コンコース ↓ コンコース	—	・コンコース等(オープン部分)と文化棟2階の一体的な活用 ・特定天井耐震化	
3F	レストラン ↓ 展示室1	約320㎡	・美術展受付2人を想定 ・温湿度管理・遮光・ガス消火設備の設置 ・照明・展示レール等の設置 ・美術展巡回ルートの検討(3階内及び4階多目的室とのルート) ・主催者控室(10m)を備える。(主催関係者4人を想定)	・企画展 ・市展 ・市民グループ発表 ・貸館事業
	旧喫茶室 ↓ ショップ	約56㎡	・展示グッズの販売 ・休憩スペース ・コインロッカー	—
4F	財団職員事務所(資料室、理事長室、ミーティングルーム等)の一部 ↓ 美術品収蔵庫	約268㎡	・収蔵庫、一時保管場所、荷解き場 ・温湿度気圧管理(24時間管理)・セキュリティ機能・ガス消火設備の設置 ・搬入口、展示室との美術品動線の確保	・美術品の保管
	財団職員事務所(資料室、理事長室、ミーティングルーム等)の一部 ↓ 多目的室	約200㎡	・庄下川公園側に配置し、外から多目的室内の様子が見えるようにすること ・壁面鏡張り ・可動壁で部屋を分割して利用できるようにすること ・室内の遮光、照明・展示レール等の設置 ・音響卓・マイクシステム ・美術展巡回ルートの検討(3階展示室1とのルート)	・寄席 ・講演会 ・バレエ、ダンスレッスン ・展示 ・貸室
	財団職員事務所(資料室、理事長室、ミーティングルーム等)の一部 ↓ 創作支援室	約100㎡	・防音対策 ・暗室スペース ・音響、録音システム ・流し台 ・大型モニター	・ワークショップ ・陶芸 ・録音、映像編集スタジオ ・暗室利用 ・多目的室の控え室 ・滞在制作アトリエ ・ミーティングスペース

【その他特記事項】

- ・共用部等の改修の検討を行うこと。
- ・EVIはホール棟に一般利用1台、文化棟に一般利用1台、美術品運搬用(一般利用も想定)1台を設けること。
- ・トイレを適宜設けること。(ホール棟・文化棟2Fには、バリアフリートイレ・授乳室を設けること)
- ・倉庫等を適宜設けること。
- ・機械室及び電気室を適宜設けること。
- ・各室面積及び用途については基本設計において調整可能とする。
- ・別添資料4及び5にない箇所についても、協議の中で改修対象となる可能性がある。

総合文化センター 文化棟 平面図

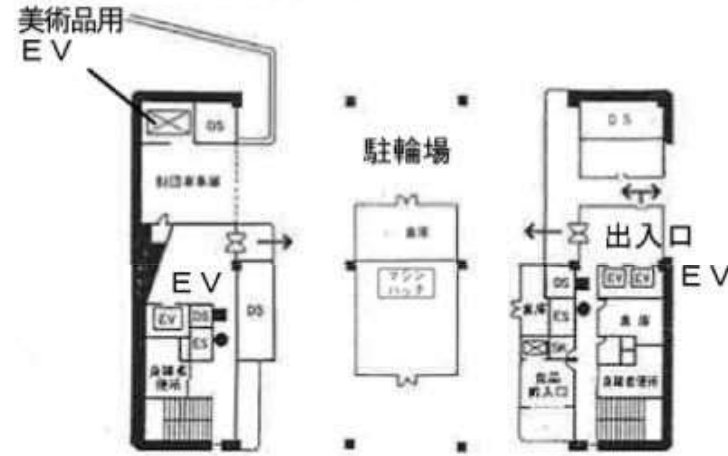
凡例

■	消火栓
→	避難経路
●	消火器

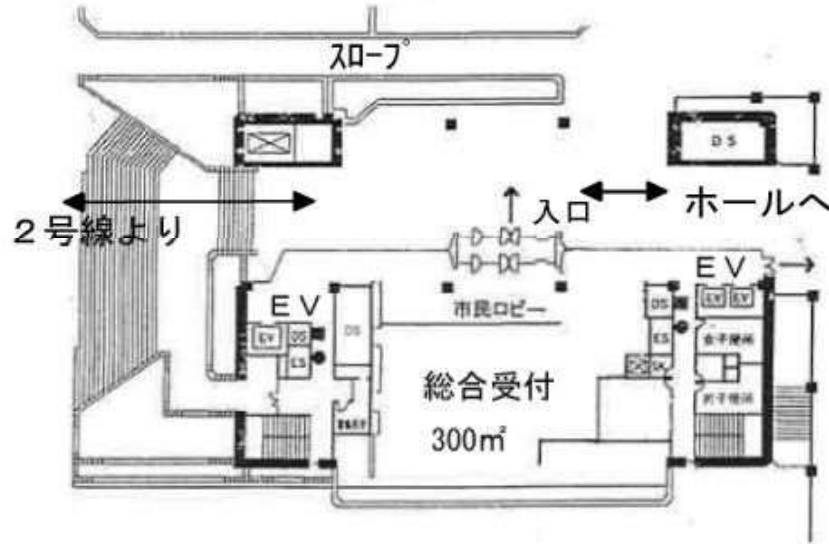
地下1階平面図 (機械室) 888㎡



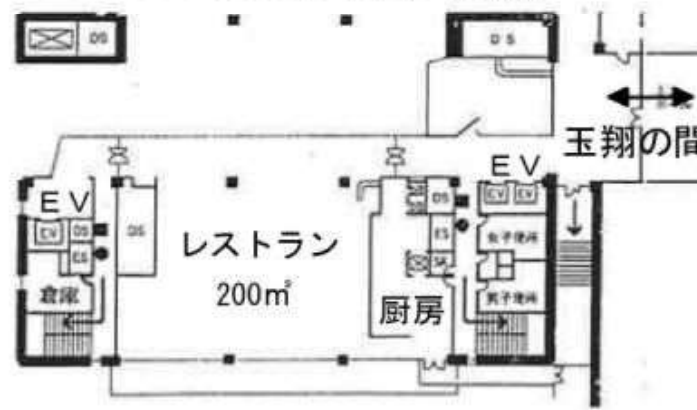
1階平面図 (車寄せ) 370㎡



2階平面図 (総合受付) 642㎡



3階平面図 (レストラン) 620㎡



4階平面図 (事務所) 857㎡



5階平面図 (美術ホール) 917㎡



減築対象



6階平面図 (美術ホール) 866㎡



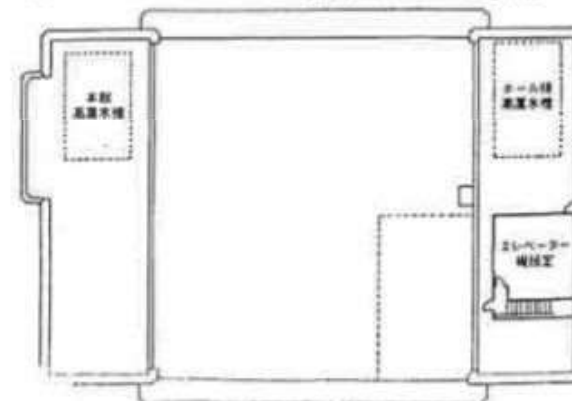
8階平面図 (会議室) 988㎡



10階平面図 (旧結婚式場) 988㎡



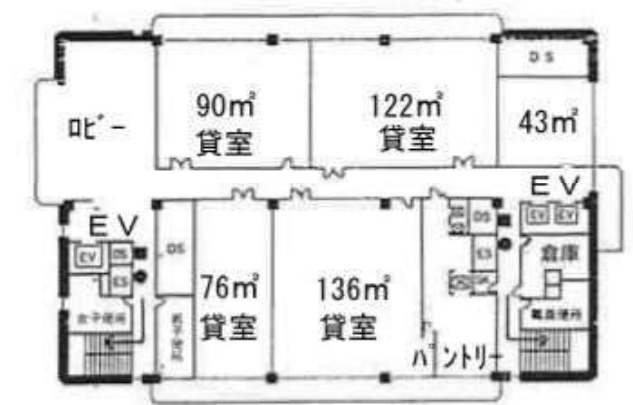
塔屋2階平面図 (機械室) 36㎡



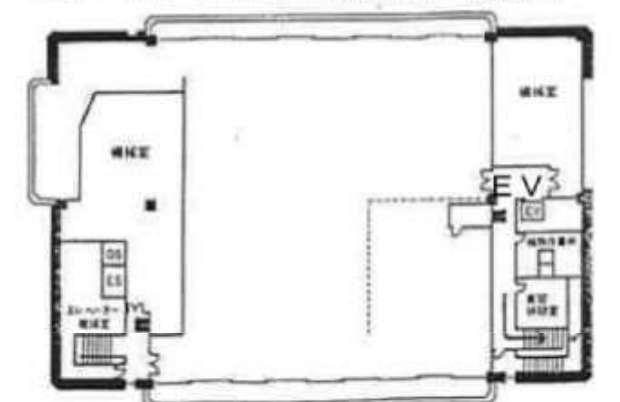
7階平面図 (文化教室) 988㎡



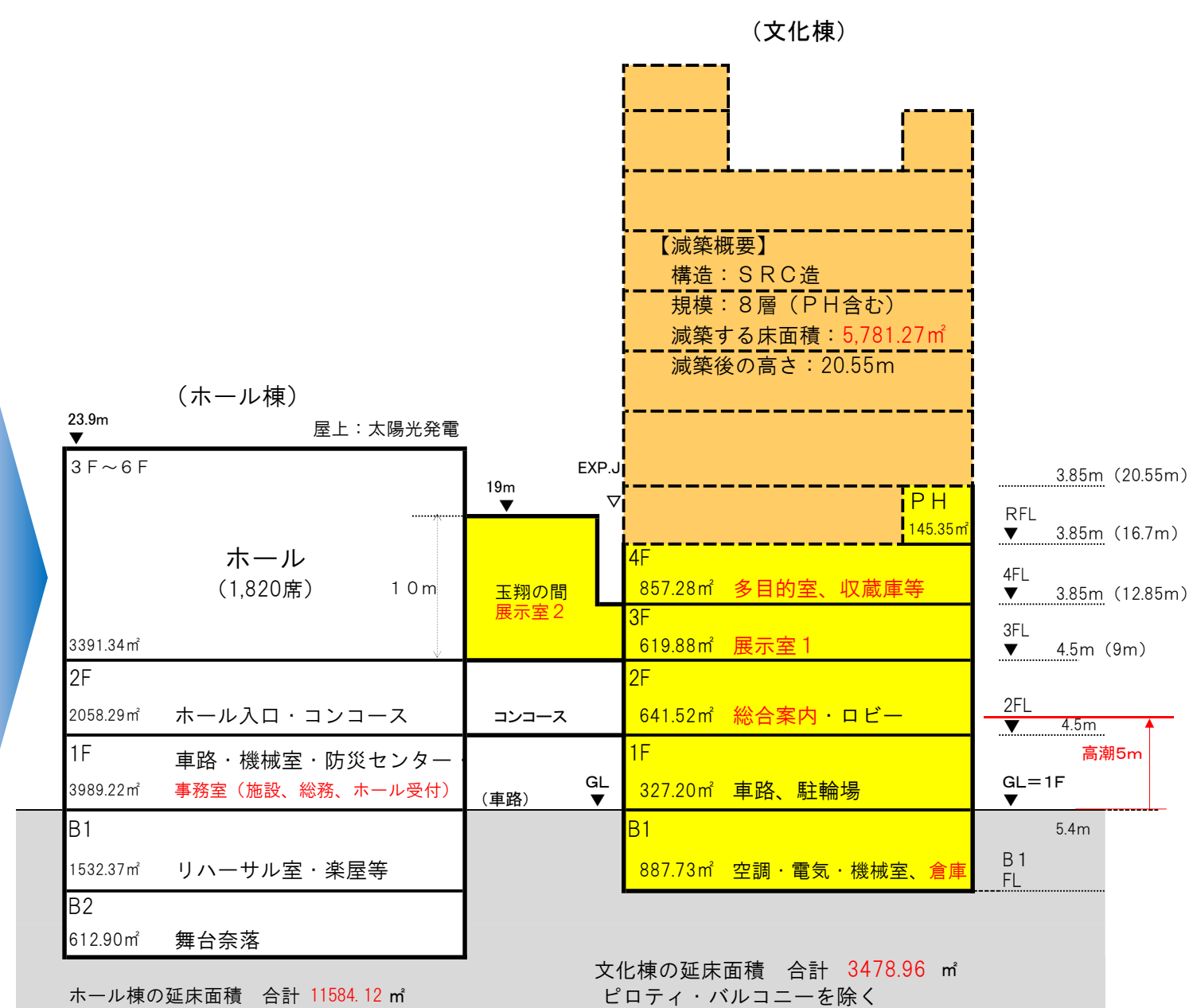
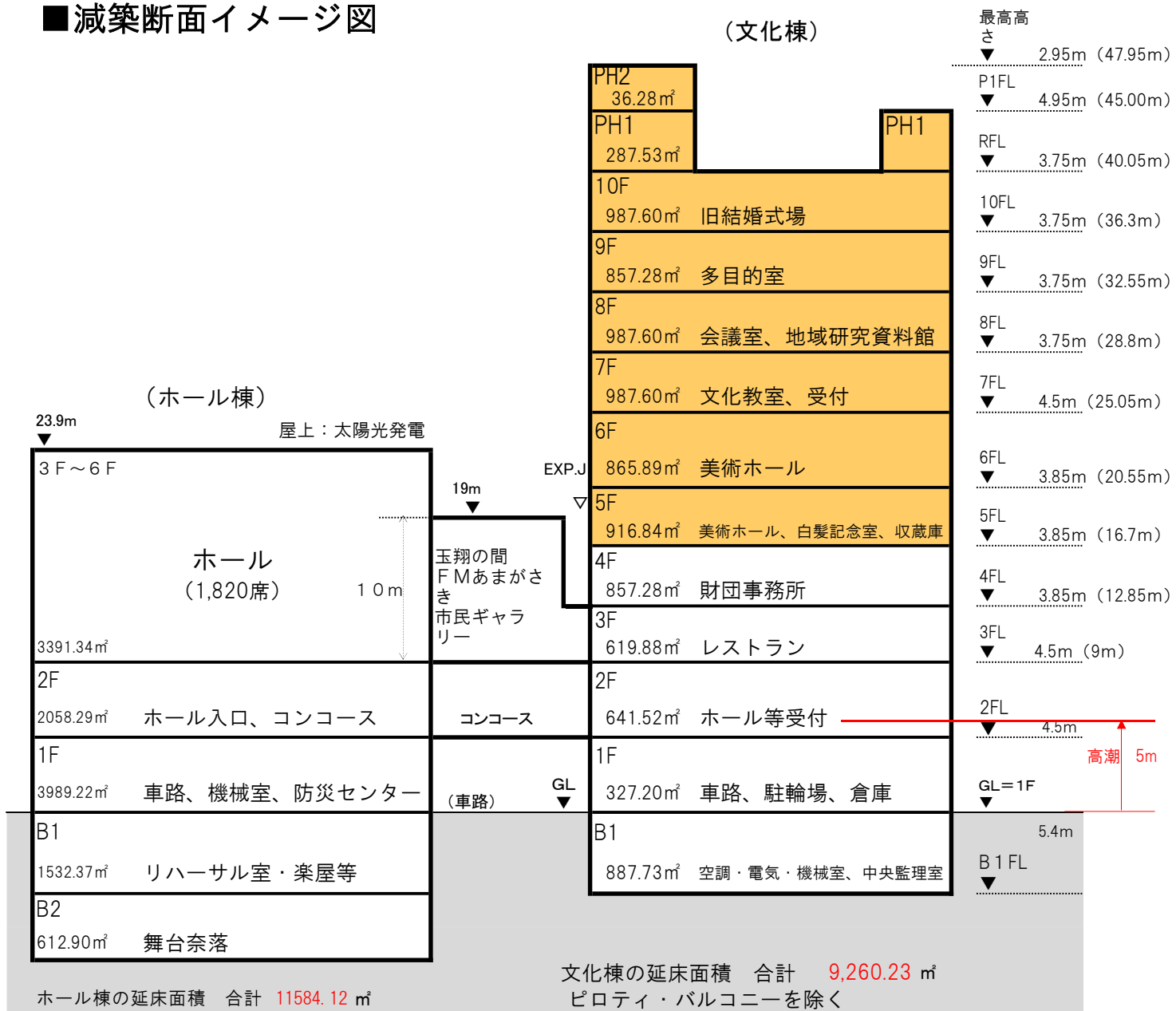
9階平面図 (多目的室) 857㎡



塔屋1階平面図 (機械室) 288㎡



■減築断面イメージ図



※ハザードマップによる高潮について(R2. 4.1公表)  
 想定想定される最大規模の高潮  
 ①堤防が破堤する場合、5m以上  
 ②堤防が破堤しない場合、最大3m以上5m未満  
 ※立体遊歩道は津波等一時避難場所に指定されている  
 GLから8.63m